

Rosario Quarterly Information



# 広報 ロザリオ

第174号

社会福祉法人  
ロザリオの聖母会  
千葉県旭市野中4017  
Tel (0479) 60-0600  
ホームページアドレス  
<http://www.rosario.jp>  
Eメールアドレス  
honbu@rosario.jp

障がい者の  
就労促進事業所 **みんなの家**



## 目次

巻頭写真 「みんなの家」	1	イオンタウン旭店様よりサンタさんのサプライズプレゼント	9
年頭所感	2	聖心女子学院様よりクリスマスプレゼント	9
創立記念日行事	5	もちつき会	9
令和6年度障害者週間行事	7	新任者紹介	9
はーとふる旭マルシェに参加して	8	災害に強い地域づくりに向けて③④	9
各種表彰	8	「私のオシメン」file 19 (法人本部)	10
米本評議員の知人大嶋源子様より	8	Photo Gallery (年末行事大特集)	12
エアコンの寄附	8	ボランティア募集のお知らせ	14
寄附者御芳名	8	職員募集のお知らせ	14

# 年頭所感

理事長 石毛 敦

新年明けましておめでとうございます。年頭のご挨拶を申し上げます。

職員の皆さんの日頃のご努力に、そして長い期間に亘り私どもの事業を支えて下さってきた多くの支援者の方々に深く感謝申し上げます。

2020年2月に始まった3年間以上にも亘る新型コロナウイルス禍も、2023年5月からの5類引き下げにより、感染対策が公式に緩和されました。それ以降、本会でも、職員バレーボール大会、職員夏祭りの開催、9月に行われたロザリオフェスティバル、10月の創立記念日行事、12月の障害者週間行事、施設・事業所間の交流、利用者さんの様々な行事の拡充など、少しずつコロナ前の日常を取り戻しつつあります。

特にコロナ感染対策が嚴重であった最初の3年間は、先の見えない不安だつたり、施設・事業所間の交流・交わりが制限され、色々な行事が中止され閉塞感が強まっ

たり、施設内でクラスターが発生したり、プライベートでも飲食会の制限など感染防御のため様々な制約が生じたり、本当に過重なストレスが襲い掛かる大変な時だったと思います。それを乗り越えて、患者さん・利用者さんに変わらぬサービス提供が続けられたこと、このようにコロナ前の通常のこと、感謝してもし尽くせないほど感謝しております。

昨年もコロナなど感染症の周期的流行、戦争や紛争、経済の低迷、大地震や水害などの自然災害、日本を世界を見渡せばネガティブなニュースに溢れていました。

年頭に当たり政治、経済、国際情勢などについて私見を述べさせていただきます。

まずは政治についてです。ケネディ大統領は「父は、私がまだ小さかった頃、政府権力は嘘をつく、民主主義の責務は疑問を持つことだ、と教えてくれた。子供の時から、科学を根拠にしてきた。

証拠を見せれば信じるが、公式見解は鵜呑みにしない。研究をするというのは、権威のある人物に意見を聞くことではない。専門家を信用することは科学的でも、民主主義的でもない。宗教的であり、全体主義的である」と語っています。

石破首相は昨年に出した著書で、「アベノミクスとは一体何だったのか、その功罪についてきちん」と評価すべき時期が来たのではないかと「アベノミクスは、禁じ手でもあった異次元の金融緩和を延々と10年続けてしまったことで、国家財政と日銀財務が悪化した。行き過ぎた金融緩和の弊害は、急速な円安というかたちでも表面化した。物価高を助長し、個人消費に打撃を与えた」と述べています。これは正鵠を射ており、まさにその通りと思います。財政破綻の危機を異次元緩和という名の金融政策で先送りしてきました。自分が行政の最高責任者の時には破綻は起こしたくないと危機を先送りしてしまうのかも知れません。石破首相がそうならないことを期待致します。

こども家庭庁の年間予算が約

5・3兆円（国防予算は7・9兆円）です。こども家庭庁を解体して今年の子どもたちに配ると1人600万円。来年以降も毎年新生児に600万円配り続けられます。これだけあれば、保育園から大学まで無料にして、学校給食を只にしてもお釣りが出ます。これとどれだけ多くの国民が救われるでしょう。景気も良くなります。少子化も改善されます。少子化対策とはなんでしょうか？結局こども家庭庁は新しい省益、利権、利益誘導、中抜きのために作られたのではないかと考えたくなる誘惑に駆られます。

日本は第一次安倍政権から岸田政権の間で200兆円を超える国税を外国の支援に使っています。学生の奨学金ローンの残高は10兆円。外国の支援の20分の1でも文教予算に充てれば無償にできます。一体これでどれだけ多くの国民が救われるでしょう。自国民の生活が苦しい時に、自国民を犠牲にして海外援助とは、政治家のキックバックを疑いたくなりますが、それでも政府は「財政が厳しいから増税します。社会保険料を引き上げます」と言っていて、とうとう国民負担率が50%を超えたわけ

です。

派遣法の改悪によって非正規労働者はこの15年間で400兆円もの賃金を搾取されています。本来、働く人の給与になるはずのお金が派遣会社や派遣先の会社に抜かれていますので、長い間、所得が上がらないのも当然です。

二つめは経済について、政府は最低賃金の引き上げなど所得向上を民間に要請していますが、賃金は、GDPが拡大することによって結果的に上がるものであり、政府が主導するものではないと考えます。原因と結果が逆で、全体のパイ（GDP）が大きくならないのに、誰かの給料を上げれば誰かの収入が下がらなければ計算が合わなくなります。ですから、世界有数の低い成長率である日本では、経済成長しない限り賃上げはかなり難しいと思います。

これからは、「個人が自由に自己実現出来る社会」「自己実現するためには、ある程度の経済的基盤は必要だから、必要最低限のセーフティネット（私たち福祉もその一つです）は政府が差し出す」を政策目標とする小さな政

府、自由主義、資本主義に変換することが最も大事ではないでしょうか。政府（他人）に自分の人生や経済生活や自己決定を管理されるべきではないというのが自由主義、その対極として政府権力が隅から隅まで国民の面倒を見る管理するのが共産主義や社会主義です。

我が国は、為替市場への介入、日銀が日本最大の株主、国債の半分は日銀が保有、そして買い支えは我々の年金資金など、市場を政府がコントロールする計画経済ですし、官製主導、中央集権、多すぎる規制等々。日本はソ連崩壊の原因となった計画経済を未だに続けており、衰退が止まっていけないのではないのでしょうか。今の日本は中国よりも社会主義化が進み、計画経済も失敗していると思えます。

これから人口減少で政府歳入も減少します。これまで同様の行政サービスを維持し、大きい政府を選挙するなら消費税、所得税や社会保険料の更なる引き上げによる重税、政府の無駄遣いをなくし規制を緩和し低い税金で民間の活力を重視したいのなら小さい政府となります。

トランプ新政権は衰退するアメリカ改革のためにイーロン・マスク氏を新設する政府効率化省のトップに据えて、2兆ドルの財政削減を目指しています。

政府の最も重要な仕事は国民の生命と財産の保護です。それと同等に重要な位置まで格差の是正が入ってくる国は社会主義国家か共産主義国家、これではソ連のように衰退してしまいます。これが日本が40年間、群を抜いて低い成長しか出来なかった主因の一つであり、歴史を見ても社会主義は資本主義に負けるのが必至です。悪しき平等主義、機会の平等ではなく過度な結果の平等はやる気を失わせますし、働こうという意欲を失わせます。何よりも若者にとつて最も重要な夢も失わせます。

資本主義も多くの欠点を抱えています。「確かに資本主義は最低のシステムである。しかし人類はそれ以上のシステムはまだ発明していない」、という有名な言葉もあります。

三つ目は、国際情勢について、ウクライナ侵攻により、アメリカ・西ヨーロッパを中心とするG

7とロシア・中国を中心とするBRICSとの新しい世界の主導権・支配権をめぐる覇権争いが見える形で勃発しました。イスラエル紛争も代理戦争の様相を呈しています。

EU外相ボレル氏は「西側の支配は終わった。米国はすでに覇権国ではない」と言いましたが、多極化の時代が始まり、その新時代をリードするのがBRICSかも知れません。BRICSに正式に加盟申請している国の数は40カ国、BRICSの主要五カ国のGDPはもうすでにG7のGDPを超えています。ロシアのサンクトペテルブルク国際経済フォーラムに世界139カ国が参加しましたし、サウジアラビアが基軸通貨であったドル以外の通貨での原油取引を認めたように、決済通貨、外貨準備通貨であったドルもかつての威光はありません。

振り返れば、AD1500年にはじまる大航海時代から過去500年間で世界の支配権はヨーロッパ諸国が握り、スペイン、オランダ、イギリス、アメリカと移り変わってきました。アメリカの衰退や没落が始まっているのかも

知れません。アメリカ日本などの海洋国家から、ロシア中国のような大陸国家に覇権が移っているのかも知れません。

最期に良いニュースです。昨年4月の報酬トリプル改定により、当会の間補正予算も収支差額7200万増と大幅な上方修正となりました。コロナ禍の4年間は減収に非常に苦しみましたので、改定に短期間で機動的に対応し、報酬増と支出減を達成した施設・事業所の職員の皆さんに感謝申し上げます。

時代、環境、状況の移ろいにより、必要とされるサービスの性質や量も変化していきます。少子高齢化、長期トレンドの人口及び労働力の減少社会、に対応するため当会では、訪問看護事業所ソフィアの海上寮への統合、デイサービスセンターローザの聖マリア園への統合を決断するに至りました。

進化論、自然淘汰、適者生存、を唱えたチャールズ・ダーウィンがこのような言葉を残しています。

「強いものが生き残るのではない。変化するものが生き残るので

ある。」

ティラノサウルスなど恐竜は地上で最も強く生態系・食物連鎖の頂点にありましたが、寒冷化など地球の環境変化に適応できず、あっけなく滅亡してしまいました。

稀にみる変化の非常に激しい時代です。「部分に気を取られて全体を見失う、短期利益を重視して長期利益を逸する、手段にとらわれて目的を忘れる」といったことが無いよう、常に疑問を抱き、問題を提起し、仮説を立て、資料や情報収集し、検証する習慣を大事にしていきたいと考えております。

激しく変化、変動する時代や環境に対応して、ロザリオの聖母会も、変えるべきところは大きく変えて、「光の当たりにくい人々と共に」と言う法人理念を堅持して、守るべきものは必ず守るという方針で臨みたいと考えております。

本年も宜しくお願い申し上げます。



今年も  
よろしく  
お願いします



令和7年 新年あいさつ会

# 創立記念日行事

事務局長 高橋宏樹

## 第I部 永年勤続表彰

カトリック暦では10月7日はロザリオの聖母の祝日であり、本会の創立記念日でもあります。この祝日の2日後の10月9日（水）13時から本会の小原ケイ記念聖堂に於いて、創立記念日行事が執り行われました。

過去4年間はコロナ過の影響を受け、さまざまな行事が中止や縮小を余儀なくされました。創立記念日行事についても規模を縮小して開催せざるを得ませんでした。小原ケイ記念聖堂での開催は実に5年ぶりの開催となりました。

第I部は、職員の多年にわたる功績を称えて永年勤続表彰が行われました。本年度の受賞者は、勤続30年が4名、20年が1名、10年が10名の合計15名でした。表彰式では本会理事長石毛敦からの祝辞に続き、受賞者に表彰状と記念品が授与されました。その後、受賞者代表としてワークセンター所

長・林からの謝辞が述べられ、式は終了しました。  
 受賞者の皆様、長きにわたる勤務お疲れ様でした。健康には十分に留意されて、今後、益々のご活躍を祈念いたします。



### 【勤続30年】

高橋雅明  
 林裕美子  
 藤井伸枝  
 三浦智明

### 【勤続20年】

小森正道

### 【勤続10年】

川尻信子  
 鈴木久美子  
 山崎笑  
 柳崎揮  
 勝又太  
 城戸麻耶  
 青谷亮介  
 宇野澤寿子  
 石井彩香  
 田中みのり

## 第II部 記念講演

第II部は、カトリック東京大司教区 補佐司教であるアンドレア・レンボ氏による「日常生活で出会う人々、特に弱い人、病人、苦しんでいる人にどのように寄り添うことができるか」と題した講演会でした。

講演に先立ちまして本会元理事の吉川神父様よりアンドレア・レンボ補佐司教様のご紹介がありました。アンドレア・レンボ補佐司教様は、1974年5月23日、イタリア・ロンバルディア州生まれ。ミラノ大学を卒業後、生命保険会社に勤務。1995年にイタリア・モンツアのミラノ外国宣教会の国際神学院に入学。その後も神学校で学士号を取得。2003

年6月7日にフィリピンで助祭叙階を、2004年6月12日にミラノ司教座聖堂で司祭に叙階されました。2004年から2008年まで同会ヴィッラ・グルガーノ共同体で宣教及び召命の責任者を務められました。

2009年4月に来日。2011年4月から東京や千葉で助任司祭を務め、2017年4月から2023年3月までカトリック府中教会の主任司祭を、2017年5月からはミラノ外国宣教会日本管区長を務めました。2023年9月16日に教皇フランシスコより、東京大司教区補佐司教に任命されました。

東京教区に於いては、菊地功東京大司教様が教皇フランシスコより枢機卿に任命されました。このことにより菊地大司教様は、ロー

マを訪れる機会が多くなり、その留守を預かるのがアンドレア・レンボ補佐司教様ということで大変お忙しい方です。

紙面の関係上講演内容を詳しく紹介できませんが、「困っている人に手を差し伸べる勇氣を持たなければならぬこと」や隣人愛では、「自分にとつての隣人は誰なのかと考えるより、誰の隣人になりたいのかと考えるほうが良い」等、わかりやすく教えていただきました。アンドレア・レンボ補佐司教様、お忙しいところ本当にありがとうございました。

## 創立記念日行事

日時 令和6年10月9日(水)  
13時00分～15時30分  
場所 小原ケイ記念聖堂

第I部 永年勤続表彰式

第II部 記念講演  
演題

「日常生活で出会う人々、特に弱い人、病人、苦しんでいる人にどのように寄り添うことができるか」

講師：アンドレア・レンボ氏  
カトリック東京大司教区 補佐司教



# 令和6年度障害者週間行事

## 功労者表彰に際して

執行役員 古山勇一

この度、法人主催の令和6年度「障害者週間行事」において、匝瑳市の城之内医院、江波戸久元先生の表彰が行われました。江波戸先生につきましては、当会、聖家族園において、30年近く嘱託医として勤務していただき、利用者の健康管理に協力いただいております。施設は安心して生活することができています。引き続き、温かいご支援をよろしく願いたします。



## 基調講演

ロザリオ発達支援センター 所長 中野仁敦

令和6年12月5日千葉県立東総文化会館において基調講演が5年ぶりに開催されました。この行事は福祉関係者をはじめ、地域の人達へ講演会を通して貢献を行う目的があります。ロザリオ発達支援センターの相談員であり、元八日市場特別支援学校校長の西村則子先生をお迎えし、つなぐ、つなげるをテーマに「これからの障害児(者)支援に向けて」教育・福祉の現場から」の講演を頂きました。

先生は、40年前に養護学校の教師として経験された、障害児を取り巻く厳しい環境について語り、支援環境や法制度の変化について実体験を交えて解説されました。また、千葉県特殊教育センターでの研究指導主事としての業務や、千葉県TEACCHプログラム研究会の設立の経過についてお話されました。富里養護学校での

自閉症の児童に合わせたTEACCHの構造化実践については、写真を用いながら具体的な手法を詳しく説明されました。

「支援する私たちが困っているのではなく、子どもたちの方が困っている」「特性を理解し適切な支援をしなければ問題行動は解消されない」との言葉は、多くの参加者の心に強く響きました。

最後に、支援をつなげるためには各機関の専門性向上、施設間の連携強化、現場を直接確認しての引き継ぎが重要であると締めくくられました。この講演は、日々の支援や専門性の在り方を見つめ直す貴重な機会となりました。



## シンポジウムを企画して

ロザリオ発達支援センター 副主任 中村大吉

まずは登壇いただいた方々へ、お忙しい中ご参加いただき厚く御礼申し上げます。

当事者保護者・医療・行政といった様々な立場の方々のお話・想いに触れて、改めて『知ることの大切さ』を感じました。今まで以上に当事者の方々の情報だけでなく、本人と家族、関係者の思いも繋がる・繋げられる地域づくりの必要性を感じました。

様々な立場の方々の想いに触れて、皆様はどのように感じられましたでしょうか。



### はとろる旭マルシェに参加して

みんなの家 副主任 武内美菜

旭市役所ロビーにて行われた第二回マルシェに12月4・6日と参加させていただきました。

マルシェは、障害者就労施設で作成した製品を販売させていただくことで、理解促進を図るという趣旨のもと行われました。当日は、たくさんのお客様にいらしていただき、参加された利用者さんも楽しそうに販売を行ってくれました。また、他事業所の製品に触れ、お話を聞かせていただくこともでき笑顔の多い二日間となりました。企画をしていただきありがとうございました。



### 全国社会福祉協議会会長表彰

高木春江

### 千葉県社会福祉協議会会長表彰

吉川和穂

### 社会福祉事業功労者等に対する知事表彰

五木田 日女子  
伊藤 あけみ  
白井 正和

### 千葉県社会福祉事業共助会長長期在籍会員顕彰

大石智也

### 聖母療育園



米本評議員の知人  
大嶋源子様より

素敵なお人形を頂きました。  
ありがとうございました。

### エアコンの寄附

聖マリア園 荒井貴雪

この度、聖マリア園家族会からエアコンの寄附をいただきました。聖マリア園生活棟の北廊下洗面所のエアコンが故障してしまつたため、整備させていただきました。

寒い時期となり、食後の洗面や廊下を通る際に身震いをする様子も見受けられる中、この度、家族会からエアコンを寄附していただき、廊下を通る利用者の皆様からは暖かいと喜びの声をいただきました。  
家族会のご理解、ご厚意に心からお礼申し上げます。



### 寄附者御芳名

令和6年10月1日～12月31日

- 高橋 かず子 様
- 木志根 茂行 様
- 山尾 友紀 様
- スズキメタル(株)
- 代表取締役 鈴木和江 様
- 黒崎 知子 様
- カトリック松戸教会
- コスモスの会 様
- 中嶋 和子 様
- 久米 倫男 様
- 高橋 延広 様
- レデンプトリスチン修道院 様
- 吉川 敦 様
- カトリック西千葉教会 様
- 寺本 修子 様
- 秋山 世以子 様
- 武多和 君子 様
- カトリック銚子教会 渡邊泰男 様
- 聖心女子学院 五月会 様
- 聖心女子学院 中等科もゆる会 様
- まつざわコーヒー 様
- ちばみどり農業協同組合
- 八日市場支店 様
- 聖心女子学院 様
- 大嶋 源子 様
- 木村屋建築設計事務所 様
- 旭地区遊技場組合
- 組合長 小川憲二 様
- 加瀬 政衛 様
- 米本 弥栄子 様

### イオンタウン旭店様より サンタさんのサプライズプレゼント

聖家族作業所 平山愛佳音

12月7日(土)に開催した、クリスマス忘年会にてイオンタウン旭店様よりサンタさんたちが3名来て下さいました。イオン様にはこれまでにも法人内の施設事業所で行っているクリスマス会へお越しただいておりますが、当事業所では初めてのことでした。今回、利用者全員分の靴下のプレゼントをいただきました。当日まで利用者の皆様には内緒にしていたので、うれしいサプライズゲストに所内は大いに盛り上がりまして。心温まるプレゼント、ありがとうございました。



### 聖心女子学院様より クリスマス마스プレゼント

ロザリオ発達支援センター 石橋雅子

聖心女子学院様より、今年も子供たちへの心のこもったクリスマスプレゼントを頂きました。子供たちが大好きなお菓子の詰め合わせに手作りの雪の結晶が添えられていました。プレゼントをもらった子供達の表情がとっても印象的でした。おかげさまで素敵なクリスマスをお過ごしことができました。温かいお気持ちを職員一同、心より感謝申し上げます。



### もちつき会

ナザレの家あさひ 山田茉由

12月21日(土)、社会福祉協議会様よりご寄附をいただいたもち米を使用して、毎年恒例のもちつき会を開催しました。

今年は、例年同様、雑煮・あんこ・きなこ・からみのほかにみたらしの味も追加し、様々な味わいで皆さんに楽しんでいただきました。年に一度のもちつきを心待ちにしていた皆さんは、「おいしい!」と何度もおかわりをし、笑



顔溢れるひと時を過ごしていただくことができました。また、今年は法人内だけでなく、黒潮会の皆さん、外部の関係機関、学生ボランティアの方々にお力添えいただき、盛況のうちに終えることができました。たくさんのご協力、ありがとうございました。

## 新任者紹介

ソーシャルワーカー

田中 美恵子



1月から友の家に入職しました。友の家の頼れる皆さんにご指導いただき、仕事ができるようになりました。ありがとうございます。

支援員

ダン ティ ロアン



わたしはロアンと申します。趣味は料理と写真を撮ることで。介護の仕事は初めてですが、頑張りたいと思います。皆さまよろしくお願ひいたします。

### 佐原聖家族園

支援員



ファミフォンジエン わたしはジエンと申します。2017年にベトナムから日本にきました。介護の仕事は初めてですが、頑張りたいと思います。皆さまよろしくお願ひいたします。

### 災害に強い地域づくりに向けて③ 介護職員等応援派遣を通して

香取障害者支援センター 主任 林康大

令和6年1月23日(火)厚生労働省福祉基盤課から令和6年能登半島地震にかかわる介護職員等応援派遣についての協力要請があり、令和6年1月28日(火)から3日間1・5次避難所(いしかわ総合スポーツセンター 産業展示館)に介護支援スタッフとして派遣されました。

1・5次避難所は要配慮者(高齢者、障害のある方、妊婦、未就学児等)等が2次避難所に移る間の生活環境の確保のために設置されており、行政・医療・福祉などの多職種が連携し避難者のケアに当たっていました。

介護支援スタッフの業務を行う中で、避難者からこんな話を聞きました。「地震が発生し、瓦礫とタンスの間に挟まれて身動きが取れなくなりました。隣のおばさんが家の中にいることを知っていて、助けを呼んでくれた。半日後地元の消防団員が駆けつけて助けてくれた。」と災害当時のことを話してくれました。大地震発直



後、公助を受けることはほぼ不可能であり、自助・共助をどれだけ強めていくかで生死が分かれる。命を守るために福祉ができることは、ここにヒントがあるのでないかと感じました。

能登半島の地震が発生し1年が経ちましたが、未だに修復されないライフラインがあるようです。避難生活を送られている方々が、一日でも早く平穏な日々に戻れることを願っております。

### 災害に強い地域づくりに向けて④ 第45回九都県市合同防災訓練

聖マリア園 主任 小森正道

千葉県災害福祉支援ネットワーク協議会より依頼を受け、令和6年10月20日(日)に実施された第45回九都県市合同防災訓練(千葉県会場)にDWA Tとして参加しました。

会場はいすみ市大原中学校の体育館。避難所運営支援、DWA T先遣チームとしての活動でした。

先遣チームとは、①要配慮者の福祉ニーズ等の把握。②被災地のインフラ等の状況把握。③その後の活動するDWA T活動環境の整備。④他団体との連携調整。

訓練は、実際に地元の方々や会場となった大原中学校の生徒が避難者役となって行われました。訓練開始と同時に市役所の方々が避難者用のテントを設置、避難者を受け入れ、その後、DWA T(災害派遣医療チーム)の先遣チームが入ります。DWA T先遣チームは、市役所・DWA T等から情報収集をし、活動(①④)に入りました。得た情報等を市役所・DWA Tや関係機関等に報告し他職種チームと協力・連携しながら訓

練を行いました。また、次に活動に入るDWA Tチームへの引継ぎを行い訓練終了。

クラウドでは、警察・消防・自衛隊などの防災関係機関による救出救助実動訓練や医療関係者による応急救護訓練、ライフライン事業者によるライフライン復旧訓練を実施。自衛隊では、ヘリコプターで実際に避難者を引き上げる訓練も同時に行われました。

今回の訓練を通して、災害を想定した訓練を行っています。想定外を視野に入れた準備や地元ではどんな関係機関があり、どんな事がお互い助け合うことができるのかを常に把握する必要があると感じました。また、自分が経験した事が周りの人たちに少しでも良い関わりができるよう努めていきたいと思えます。



私のオシメン file 19

法人本部

【出身地】千葉県銚子市  
 【職種】事務員  
 【職歴】2012年4月～ 聖家族園  
 2024年10月～ 法人本部  
 【趣味】楽器演奏（クラリネット）、Netflix



石坂 一平



入社したきっかけは？



高校生の時、当法人の春のコンサートに吹奏楽部として参加した際に、曲に合わせて楽しそうに踊ったり歌っている利用者さんたちの姿を見て、福祉に興味を持ったのがきっかけです。

ロザリオの聖母会の魅力は？



日々、利用者さんに「ありがとう」等と声をかけていただくことで励みになり、自分が頑張れば頑張るほど成長できる場所です。多様な価値観に触れて学びを得られるのも魅力の一つです。また、福利厚生も充実しており、働く時間や職場の選択肢が豊富で、年齢に関係なく長く安定して働くことができ、資格や経験がなくてもキャリアアップが可能です。



今後の意気込みは？



法人本部に異動したばかりで分からないことも多いですが、早く仕事を覚えられるように頑張りたいと思います。そしてロザリオの聖母会のIT化を推し進めていきたいです！



# Photo Gallery

★佐原聖家族園★



生演奏♪みんなて歌ったよ

★ナザレの家かとり★



プレゼントもらったよ



★聖ヨセフつどいの家★



サンタさんからプレゼント📺



年

★聖マリア園★



クリスマス会開催🎵🎶  
美味しい料理を満喫しました🍽️😊



末



行

★マリアデイサービス★



すごく楽しかったよ!



★聖家族園★

★聖家族作業所★



今年のテーマは北欧のクリスマス!



クリスマスランチ美味しいな!

★聖母通園センター★

★聖母療育園★



☆クリスマス☆



クリスマス会で楽器演奏をしたよ!

★旭市こども発達センター★

★ロザリオ発達支援センター★



☆クリスマス☆



プレゼントもらったよ!



集



特

大

★みんなの家★

★ワークセンター★



サンタクロースと一緒に忘年会!



中身が気になるー!!

★友の家★

★デイサービスセンター・ローザ★



2024友の家クリスマス会★



ゆく年くる年、正月飾りができました



